

わんぱく相撲実行委員会 事業報告

委員長 飯塚 大樹

本年度、わんぱく相撲実行委員会では、事業を通して他者を思いやる心、敬う心など社会生活をするうえで必要不可欠な人間性を育み、心豊かなわんぱく力士による、わんぱく相撲アイデンティティを醸成できることを目標に掲げ、邁進して参りましたが、コロナ禍という事態に伴い、当初予定していた「第32回わんぱく相撲浦安場所」は、中止にせざるを得なくなり、別の事業内容に変更しました。

まずは、11月1日に浦安市中央公民館にて「想いを繋げわんぱく相撲化粧まわし」を開催し、入選者の発表と化粧まわしのお披露目をしました。小学校6年生を対象にわんぱく相撲に対する想いをスローガンで募集し、おもいのこもった素晴らしい作品の数々を応募頂きました。スローガンを考えてもらうことで、わんぱく相撲に対する想いを再認識し、過去を振り返ってもらうことで、わんぱく相撲アイデンティティを醸成の足掛かりになってくれたと思います。

次に11月から最優秀作品の「化粧まわし」を、青少年会館に展示しました。先輩達の想いが詰まった化粧まわしを多くの下級生が目に触れることにより、わんぱく相撲に対するが喚起され、継承してくれたと思います。

また、来年以降のわんぱく相撲浦安場所開催に関し作成した化粧まわしが、優勝者のみがつけられるわんぱく相撲力士にとっての「憧れの化粧まわし」となることを信じております。

最後に、本年度青少年育成事業の一環としての定例事業であるわんぱく相撲実行委員会として、社会生活をするうえで必要不可欠な人間性を育む学びの場として、その想いを繋げてくれた参加者、協力企業・団体、そしてJCメンバーに心より感謝の意を表し、わんぱく相撲実行委員会の事業報告とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。